

# イタイイタイ病市民会議

## イタイイタイ病の残された課題

### —市民とアカデミズムの役割—

連続3回 G7 富山環境大臣会合に向けて

場所：富山大学中央図書館2階 プレゼンテーション・ゾーン  
対象：研究者，学生，一般市民 どなたでもどうぞ **入場無料**

◆第1回 2016年3月16日(水)13時～15時

講演1 鏡森定信 (県立イタイイタイ病資料館館長，  
元富山大学大学院医学薬学研究部教授)

「現在・未来へつながる歴史認識」

講演2 向井嘉之 (イタイイタイ病を語り継ぐ会代表)

「正しく語り継ぐこと」

◆第2回 2016年4月20日(水)13時～15時

講演3 青島恵子 (荻野病院院長)

「カドミウム腎症の問題」

講演4 寺西秀豊 (富山県農村医学研究所，元富山大学大学院医学薬学研究部准教授)

「カドミウム汚染とアジアにおける健康障害の特徴」

◆第3回 2016年5月7日(土)13時～16時

講演5 三俣 学 (兵庫県立大経済学部教授)

「コモンズを生かした地域再生を視野に入れて」

講演6 東郷 佳朗 (神奈川大法学部准教授，水俣フォーラム理事)

「イ病学習を通じた「人間学」構想を目指して—水俣病の経験と教訓に照らして—」

ワークショップ まとめ



\*\*\*\*\*

参加申し込み：〒930-8555 富山市五福3190 Tel:076-445-6411(越嶺会・米原)

Fax:076-445-6419 e-mail: etsurei@eco.u-toyama.ac.jp

世話人：富山大学経済学部 両宮 洋美(hiromiam@eco.u-toyama.ac.jp)

\*\*\*\*\*

主催：越嶺会 (富山大学経済学部同窓会)

後援：富山大学 富山県教育委員会

## 【趣旨】

イタイイタイ病が起こった富山において、訴訟から40年以上経ち2012年に公的資料館である富山県立資料館が開設された。2013年には被害者団体と加害企業である三井金属工業㈱との間で「神通川流域健康管理支援制度」協定が結ばれ、国の公害病認定には入らないカドミウム腎症について一定程度の救済が開始された。2014年には、初めてイ病に関わる活動を行う市民団体「イタイイタイ病を語り継ぐ会」が誕生した。ここ数年間、イ病をとりまく環境はかつてないほどダイナミックな動きが展開している。

他方、残された現代的課題—正しく伝えるということ（教育、資料）、市民の健康・食の安全の担保、他の公害に対する生きた教訓としての活用等—が山積している。これらの課題は、訴訟当事者である被害者、加害企業および住民の健康管理責任を負う行政という三者のみでは、とうてい解決不可能である。他の公害被害の地と同様に、市民とアカデミズム（大学人や研究者）の役割がいつそう求められている。

身近な富山の地で起こった悲劇について学び、考えることを通じ、イ病について、市民とアカデミズムはどのように寄与しうるのかを議論できればと考える。また市民とアカデミズムの連携により、実践を伴った学問領域、環境問題学習を通じた「人間学」の形成ということが可能なのではないだろうか。「水俣病大学」のような、公害問題の学習を通じた「人間学」を目標とした「イタイイタイ病大学」の第一歩として、この企画を行いたい。

第一回目と二回目においては、イ病を取り巻く歴史、現在の市民活動に関係する知見を共有する。第三回目の市民会議—我々は市民とアカデミズムの共同作業の場を「イタイイタイ病市民会議」と呼ぶ—では、参加者の皆様とともに、イ病学習を通じた「人間学」構想を目指して、市民とアカデミズムの役割を考えたい。

## <イタイイタイ病年表>

- 720年頃 神岡鉱山は養老年間に鉱山として歴史に現れた
- 16世紀末 現在の神岡鉱山の主要鉱区が銀山として発見される
- 1874(明治7年) 三井組が神岡鉱山の経営に着手
- 1911(明治44年) 厚生省(当時)の推定による最初のイ病患者発生
- 1946(昭和21年) 萩野病院 萩野昇医師がイ病発見
- 1955年 イ病が初めて新聞報道される
- 1961年 萩野医師らがカドミウム原因説を発表
- 1966年 被害住民がイ病対策協議会を結成
- 1968年3月 患者・遺族が三井金属鉱業に損害賠償を求め富山地裁に提訴
- 1968年5月 厚生省(当時)がイ病を初の公害病認定
- 1971年 第一次訴訟・富山地裁 原告勝訴の判決
- 1972年 控訴審で勝訴確定  
住民—三井金属鉱業が公害防止協定を締結
- 1974年 公害健康被害補償法施行
- 1980年 汚染土壌の復元開始
- 2012年3月 土壌復元完了
- 2012年4月 富山県立イタイイタイ病資料館開館
- 2013年 被団協と三井金属鉱業が全面解決の合意書に調印
- 2014年 イタイイタイ病を語り継ぐ会設立
- 2015年 天皇・皇后両陛下がイ病資料館を見学

(松波淳一.2010「定本 カドミウム被害100年回顧と展望」桂書房,  
畑明郎・向井嘉之.2014「イタイイタイ病とフクシマ」梧桐書院,  
三井金属 HP <https://www.mitsui-kinzoku.co.jp/nobel/page-01/>)